

BUSINESS REPORT

第21期 株主通信

2017年4月1日 ▶ 2018年3月31日



株式会社バイ・テクノロジー

(証券コード:7717)

トップメッセージ

創業20周年を迎えて

当社は、1997年に世界有数の装置メーカーを目指し私を含め4人でスタートいたしました。昨年の10月16日に創業20周年を迎えることが出来ました。また、三期連続で増収増益を成し遂げられましたのは、ひとえに株主の皆様をはじめ関係の方々の温かいご支援、ご厚誼の賜物と厚く御礼申し上げます。

創業当時は、4人のエンジニアで始めた会社でしたからあらゆるリソースが足りませんでした。独自のアイデアを盛り込んだPDP検査装置には自信がありました。

お客様に熱心にアイデアの説明をし、商社を介して注文書を受け取り、それを元手に銀行から融資を得て、製品の製造を協力会社にお願ひし、お客様にお届けしていました。何とかPDP検査装置の販売が軌道に乗り、1999年にはLCD分野への参入を決定し、M&AでLCD検査装置の新しいメンバーを迎えました。一丸となるまでに大変苦勞しましたが、LCD製造工程のイールドマネジメントソリューションの走りにつながる検査装置のラインナップを短期間で揃え、お客様から大きな仕事を頂戴することが出来、その翌年には東証マザーズに上場いたしました。

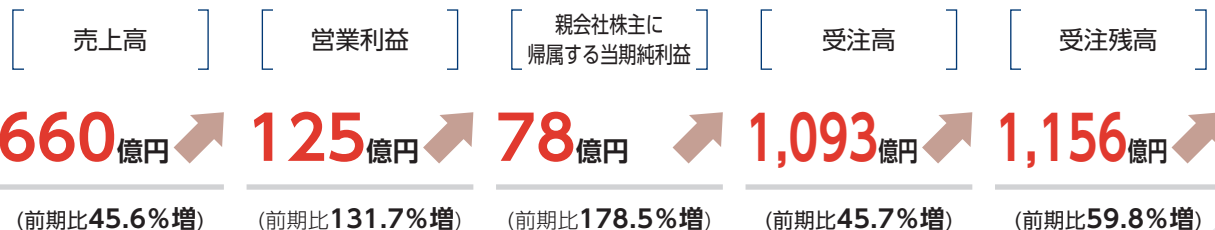


代表取締役社長
杉本 重人

以来、外部の人、技術、考え方、文化など「異なるもの」と、当社グループの「既存のもの」との融合で、イノベティブな新技術や新製品を創出すると共に、M&Aを効果的に活用しながら規模を拡大し、世界有数の装置メーカーを目指し着々と歩みを進めてまいりました。挑戦を重ねると失敗もありますが、諦めず、失敗を糧に、株主の皆様をはじめ関係の方々のお力に支えられながら今日に至ります。

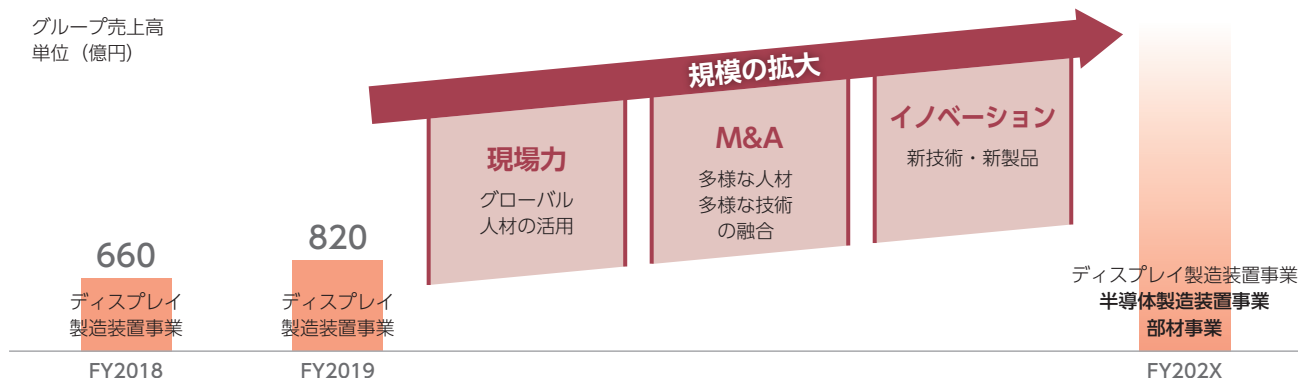
今後も株主の皆様のご期待に添えますよう、大いなる志と、溢れる情熱で世界最高のイノベーションを創造し社会に貢献していく所存です。株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご理解とご支援を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

平成30年(2018年)6月



中長期の経営方針（これからのブイ・テクノロジー）

3つの重点項目（現場力の強化、M&A、イノベーション創出）に注力し、ディスプレイ製造装置事業に加え、半導体製造装置事業、部材事業（蒸着マスク等）を擁する世界有数の製造装置メーカーを目指しています。



2019年3月期 業績および配当の見通し

四期連続で売上および利益の最高額を更新する見込みです。配当については、配当性向20%以上を目標としつつ、M&A資金確保、設備投資並びに研究開発投資、経営基盤強化の為の内部留保確保等を勘案し決定いたしました。

	2018年3月期実績		2019年3月期予想		YOY
	金額 (百万円)	構成比	金額 (百万円)	構成比	
売上高	66,067	—	82,000	—	24.1%
営業利益	12,545	19.0%	16,500	20.1%	31.5%
経常利益	12,370	18.7%	16,200	19.7%	31.0%
親会社株主に帰属する当期純利益	7,837	11.9%	10,000	12.2%	27.6%
1株当り当期純利益	1,582.84円		2,019.59円		+435.75円

配当について

2019年3月期見通し	中間配当：160円（予想）	期末配当：160円（予想）	+50円
（参考）前期実績	中間配当：100円（実績）	期末配当：170円（実績） （記念配当30円を含む）	

※業績見通し等については、現時点で入手可能な情報から得られた判断に基づいています。予想にはさまざまな不確定要素が内在されており、実際の業績は種々の要素により業績予想とは異なる場合があることをご承知おき下さい。

株式会社バイ・イー・ティーの設立について

当社は、OLEDの性能向上等に貢献する次世代蒸着マスク「ファインハイブリッドマスク(Fine Hybrid Mask)」の製造および縦型蒸着装置の開発等を目的とする株式会社バイ・イー・ティーを2017年12月1日に設立しました。また、OLED関連技術が集中する山形県米沢市に生産拠点を設けることを2018年の2月6日に発表いたしました。現在、2019年4月からのファインハイブリッドマスクの出荷を目指し作業を進めております。



2月6日記者会見、左から産業技術振興機構結城理事長、米沢市中川市長、山形県吉村知事、当社代表取締役杉本社長、山形大学城戸教授、VET長野社長(写真協力:山形新聞社)



八幡原工業団地とバイ・イー・ティー工場



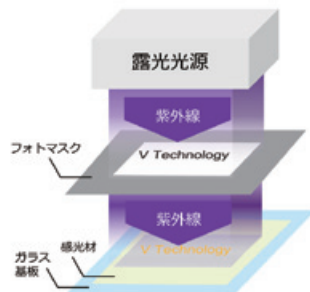
ファインハイブリッドマスク、縦型蒸着装置について

事業名	特長など	製品イメージ
ファインハイブリッドマスク	<p>特長</p> <ul style="list-style-type: none"> ①高精細な蒸着が可能。 ②複雑な作業が不要で扱い易い。 ③既存の蒸着装置で使用可。 ④軽量、縦型蒸着に不可欠。 <p>→OLEDの画質UP、コストダウンに貢献</p> <p>今後について</p> <p>2019年4月から商業生産開始予定。</p>	<p>G4.5Fサイズサンプル</p> <p>FHM断面構造</p>
縦型蒸着装置	<p>特長</p> <ul style="list-style-type: none"> ①G6サイズ基板に対応、最大従来比で4倍の生産能力を目指す。 ②縦型蒸着装置に不可欠な蒸着マスク(FHM)はVETが支給。マスク、装置両面から開発。 <p>今後について</p> <p>2020年の出荷を目指し開発中。</p>	<p>2枚同時蒸着時の真空チャンバー内部</p>

ディスプレイ用フォトマスク描画装置

大型ディスプレイが効率よく生産できるG10.5ガラス(基板サイズ:約3m×3.4m)やOLEDに関連した新工場建設が相次ぐ中フォトマスク*1の需要は高まりを見せています。当社は、超高精度描画が可能で、世界最大級の大型フォトマスク*2に対応する描画装置を新たに開発いたしました。

*1:フォトマスクについて



画素パターン等をガラス基板上に転写するために用いられます。石英ガラスなどを用いて製造されます。

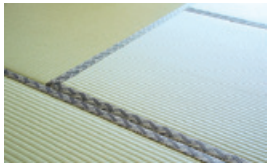


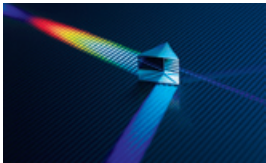
*2:大型フォトマスク描画の課題

マスク描画時間 (20時間超)	環境変化	パーティクル
描画範囲拡大 (約2m角)	フォトマスクの大型化	マスク重量増加
位置制御分解能 (15nm)	CADデータ変換 (高速性/正確性)	描画パターン 微細化

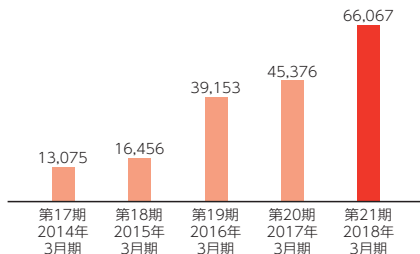
フォトマスク描画装置は、ディスプレイの「原版」を製造する装置です。より高いレベルの精度が要求されます。また、描画が完了するまでの間に、温度、湿度、気圧、振動など様々な要素が変化する中でnm(ナノメートル)～m(メートル)*3までの極端な範囲を、極限の精度で描画する装置です。

当社は、技術開発力の底上げ、次世代ディスプレイ製造技術の実用化を視野に、この装置の開発に挑戦いたしました。また、当社はフォトマスク用の検査装置、測定装置、修正装置をすでに製品化しており、フォトマスク描画装置の製品化には、これら装置で培った技術が生かされています。1号機を昨年度に受注し、今年度販売予定です。描画装置の加入により描画から検査までをカバーする製品提案が可能となり、一層のシェア拡大が期待されます。

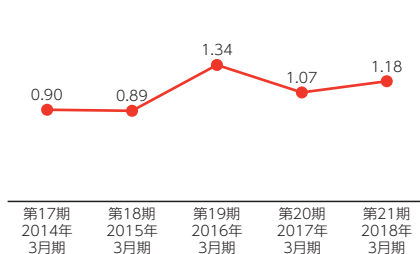
*3: nm(ナノメートル)～m(メートル)の世界

1m(=1000mm)の世界	1mm(=1000μm)の世界	1μm(=1000nm)の世界	1nmの世界
			
畳(1m×1.8m)	植物の種(数mm～数十mm)	細菌(数μm)	可視光の波長(380nm～780nm)

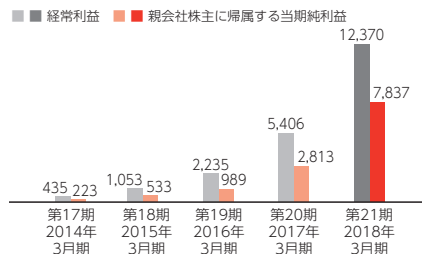
売上高 (百万円)



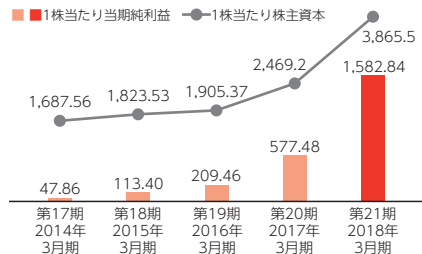
総資本回転率 (回)



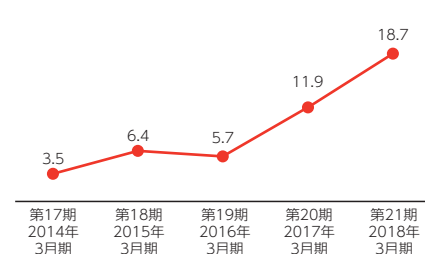
経常利益/親会社株主に帰属する当期純利益 (百万円)



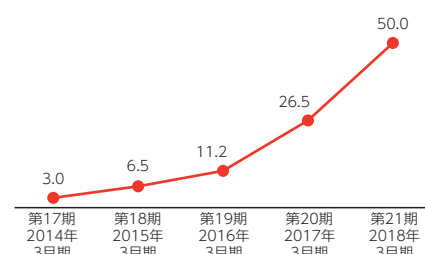
1株当たり当期純利益/1株当たり株主資本 (円)



経常利益率 (%)



ROE (%)

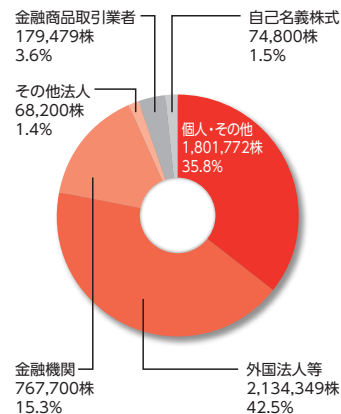


(注) 1株当たりの情報については過去に遡って株式分割等に伴う調整計算を行っております。

株式の状況 (2018年3月31日現在)

Stock Information

- 発行可能株式総数 17,590,300株
- 発行済株式総数 5,026,300株
- 株主数 4,495名
- 株式所有者別分布



大株主 (上位10名)

株主名	持株数	持株比率
杉本重人	587,300株	11.8%
CHASE MANHATTAN BANK GTS CLIENTS ACCOUNT ESCROW	369,890株	7.4%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	205,800株	4.1%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	192,300株	3.8%
BARCLAYS CAPITAL SECURITIES LIMITED	104,583株	2.1%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505253	101,000株	2.0%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口5)	89,500株	1.8%
HAYAT	73,200株	1.4%
OBERWEIS INTERNATIONAL OPPORTUNITIES INSTITUTIONAL FUND	68,900株	1.3%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口2)	67,900株	1.3%

当社は自己株式74,800株を保有しておりますが、上記から除いております。

株主メモ

- 事業年度 4月1日～翌年3月31日
- 定時株主総会 毎年6月に開催
- 配当金受領株主確定日
 - ・期末配当金 3月31日
 - ・中間配当金 9月30日
- 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
- 特別口座の口座管理機関
 - ・同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日綱町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料) 郵送先 〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 - ・同取次所 三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店
- 上場証券取引所 東京証券取引所 (証券コード 7717)
- 公告の方法 電子公告とします。 (但しやむを得ない事由により電子公告をすることができない場合は日本経済新聞に掲載します。公告掲載の当社ホームページアドレス <http://www.vtec.co.jp>)

(ご注意)

- 1.株券電子化に伴い、株主様の住所変更その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関 (証券会社等) で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合わせください。株主名簿管理人 (三菱UFJ信託銀行) ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 2.特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関 (三菱UFJ信託銀行) にお問合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取り扱いいたします。
- 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

社 名 : 株式会社ブイ・テクノロジー
 設 立 : 1997年10月16日
 本 社 所 在 地 : 横浜市保土ヶ谷区神戸町134 YBPイーストタワー9F
 TEL : 045-338-1980 FAX : 045-338-1781

役 員

代表取締役社長	杉 本 重 人
専務取締役	梶 山 康 一
常務取締役	米 澤 良
常務取締役	勝 原 隆
取 締 役	天 日 和 仁
取 締 役	城 戸 淳 二

取 締 役	神 澤 幸 宏
常 勤 監 査 役	和 田 正
監 査 役	大 倉 修 和
監 査 役	吾 田 啓 一 郎
監 査 役	住 田 勲 勇

1. 取締役城戸淳二は社外取締役であります。
2. 監査役大倉修和及び吾田啓一郎は、社外監査役であります。

グループ会社



当社HPのご案内



<http://www.vtec.co.jp/>

